



わたしはリョウ、まじょまじょよ！  
今日は、おおばーばと一緒インドの南の町までやってきたの。  
南インドで人気の定食、「ミールス」に挑戦よ！



おおばーばは、あれでもなかなか鼻がきいて、おおばーばが「おうじさん」って言うお店には、外れがないの。そんなおおばーばが「おうじさん」って言うのだから、もう、わたしの頭の中はさっさとみだれてさっさと。



このお店の中には、たくさんのお客さんたち。わたしとおおばーばも、さっそくテーブルに着席よ。まず、ほんのり甘いフルーツの上にのっけられるのが、大きなバナナの葉っぱね。少しだけお水でお清めしたら、店員さんがさっさとライスをおいてくれたわ。いったい、このごはん「ミールス」って何なの？



店員さんの盛り付けが始まったわ。いろいろなおかずが、ライスのまわりに盛り付けられてさっさと野菜のために、これは魚のつくたにみたいなものね。



あら、ピクルスまで！わたし、酸っぱいもの大好き！そして、仕上げは、ライスの上にかけるカレーね！おいしそうなおかずの種類も！これで、「ミールス」の完成ね！



「ほらリョウちゃん、まわりの人の食べ方を見て、おおばーばに言われて、ほかの人の様子を見てみると、まあびっくり！みんな、素手でかき混ぜて食べちゃってる！わたしも真似してみよう！うん、そこまで熱くないから、これならわたしでもできるわね！「リョウちゃん、指先だけでつまむようにするのよ。」手のひらがよこされるように、まわりのみんな、きたない食べ方だなんて思われるわ！わたしは、自分の右手のよこされた手のひらを入りこませて、「あ、あ、あ」と答えておいたわ。」

★☆☆☆☆ もんだい  
**おおばーばの問題**

バナナの葉の上に、ごはんとおかずをのせて重さを測ったら、520 (g) だったの。ごはんを3分の1、おかずを半分だけ食べて、再び重さを測ったら320 (g) になったわ。残ったおかずの半分を食べて、残っているごはんの半分を食べた上で、もう1回重さを測ったら、重さは170 (g) になったんだけど、じゃあ問題。バナナの葉の重さは一体何 (g) だと思う？

★☆☆☆☆ もんだい  
**問題の解答**

はじめのごはんの3分の1と、残ったごはんの半分は同じ重さです。なので、2回目に残っているおかずを全部食べると、1回目に減った重さ  $520 - 320 = 200$  (g) だけ減ることになります。実際には2回目に、残っているおかずの半分を食べて  $320 - 170 = 150$  (g) しか減らなかったの、「残っているおかずの半分」は、 $200 - 150 = 50$  (g) で、もともとのおかずの量は  $50 \times 2 \times 2 = 200$  (g) と分かります。よって、1回目に減ったごはんの量は、 $200 - 200 \div 2 = 100$  (g) と分かるので、もともとのごはんの量は  $100 \times 3 = 300$  (g)。よって、はじめにごはんは300 (g)、おかずは200 (g) あったと分かるので、バナナの葉の重さは  $520 - 300 - 200 = 20$  (g) です。

「リョウちゃん、食べ終わったら、そのバナナの葉をたたむの。それが、ごちそうさまの合図よ！まわりの人がみんなそうしてるからわたしはもとから分かったのよ。せつかくおいしかったのに、気分が台無しね。」

じゃあ、わたしの魔法でえいっと！だめね、またへびになっちゃったわ。でも、ちよっぴりバナナ色のところもあってかわいいから、まあいっか！

じんぶつしょうかい  
**人物紹介**

どこかおっとりちょいなまじょ魔女。できる魔法は「目の前のものをかわいいへびに変える」ことだけ。  
リョウちゃん

手厳しさもあればおらかでやさしいところもある。なぜかリョウちゃんと気の合う「偉い魔女」。保護者役も兼ねる。  
おおばーば